



舞鶴京都タクシー(株)  
横山 美保 さん

# まいづる元気人 Vol.80

## 「ありがとう」や「ホッとする」がうれしくて

全国のタクシードライバーのうち、女性ドライバーの割合は約3割ほど。そんな中、舞鶴でも女性のタクシードライバーが活躍中だ。「運転が好きで、仕事も職場も、ふるさと舞鶴も好き」と、とても楽しそうに話す姿と笑顔が印象的な横山さんに、仕事やまちへの思いを伺いました。

### はじまりは弁当配達

実家は弁当屋。今の職場のタクシー会社には配達員として毎日弁当を届けていた。「おじさんたちがいつも『お日もありがとう』と笑顔で親切にしてくれるのがうれしくて、いつも配達するのが楽しみでしたと懐かしそうに当時を振り返る。

平成15年に弁当屋を閉めることになり「このまま何もしないわけにはいかない」と介護ヘルパーの資格を取ったものの、ふと思いつかぶのは「配達で舞鶴を駆け回っていた日々と、京都タクシーの人たちの笑顔。これでもいいのだろうか」という思いと「女性がタクシードライバーとして働くのは危ないのでは」というイメージの狭間で葛藤していた。そんな時、アルバイト先で後の上司と偶然再会。「うちにおいで」と声をかけられた翌日には、ハローワークに足が向いていた。面接官をしてくれた上司からの心配の言葉と温かい笑顔に救われた。「ここで働きたい」という思いが確信に変わった瞬間だったという。

### 一度は退職したけれど

就職して3年ほどで出産を機に退職。当時は夜中までの勤務だったこともあり、家族と話し合った結論ではあったが後ろ髪を引かれる思いだった。2人目出産後も職場への思いは消えることなく、幼稚園入園後しばらくして職場に復帰した。

その際には、子育て中の女性でも働きやすいようにと新しい勤務形態を考えてくれ、周りも温かく迎えてくれた。職場だけでなく、幼稚園も協力的だったという。「人に恵まれて皆に支えてもらい、働きやすい環境を作ってもらって、本当にありがたかったです。職場の皆さんは配達員時代から知っていて娘のように接してくれる。幼稚園は、昔自分も通っていた場所。舞鶴で生まれ育ってきた環境だったからこそできたことかもしれないね」と微笑む。

### 日々の出会いにワクワク

「舞鶴の人は皆、優しく温かいです。今日はどんなお客さまに出会えるかな、いつもワクワクしながらお迎えします。地区ごとのお客さまの特徴の違いや景色の変化を楽しめたり、お客さまからいろいろのことを教えてもらったりと、毎日刺激がいっぱいで本当に楽しいです」と話す言葉の端々からは、仕事の楽しさやまちへの愛が溢れる。横山さんの笑顔は、今日も安全・安心・快適に乘客を目的地へと導いている。



ハダカホウズキ(ナス科)



まいづる  
花図鑑

vol.168

本州以南の山地の木陰に生える多年草。高さは60~90cmで、枝分かれして広がる。葉は互生し、楕円形で長さは8~20cm、先は尖り、下部は細くなって柄となる。秋、葉腋に下向きに淡黄色の花を数個付ける。花は径8mm、先は5裂し裂片は反り返る。果実は球形で径7~10mm、赤く熟し初冬になり葉が枯れ落ちても枝に残っている。名前の由来は、萼が少し肥大して果実の基部にあり、ホウズキのように萼に包まれていないことから。  
【協力】瓜生勝朗/文化財保護審議会委員(植物分野)

## 令和3年舞鶴市成人式

【日時】来年1月10日(日)15時~16時  
【場所】赤れんがパーク一帯  
【対象】平成12年4月2日~13年4月1日生まれの人



◆式典  
【時間】15時から(14時15分開場)  
【場所】赤れんが5号棟  
【その他】  
◆厳粛な式典にご協力を  
◆新成人の門出を祝う祝福メッセージを掲示  
【申し込み方法】  
市ホームページから申し込み(左コードからアクセス可)か「成人式式典参加希望」と明記し、郵便番号、住所、氏名、性別、電話番号をはがきかファクスで地域づくり支援課へ。12月7日(月)必着。



### 一度は退職したけれど

就職して3年ほどで出産を機に退職。当時は夜中までの勤務だったこともあり、家族と話し合った結論ではあったが後ろ髪を引かれる思いだった。2人目出産後も職場への思いは消えることなく、幼稚園入園後しばらくして職場に復帰した。

その際には、子育て中の女性でも働きやすいようにと新しい勤務形態を考えてくれ、周りも温かく迎えてくれた。職場だけでなく、幼稚園も協力的だったという。「人に恵まれて皆に支えてもらい、働きやすい環境を作ってもらって、本当にありがたかったです。職場の皆さんは配達員時代から知っていて娘のように接してくれる。幼稚園は、昔自分も通っていた場所。舞鶴で生まれ育ってきた環境だったからこそできたことかもしれないね」と微笑む。

## 12月4日~10日は人権週間

人権週間は、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念して1948年に定められました。世界人権宣言の趣旨と重要性を広く国民に訴えかけ、人権に関する意識の向上に取り組むための週間です。

◆人権のつどい2020  
人権週間に合わせて人権のつどいを開催します。無料。申し込み不要。  
【日時】  
12月12日(日)13時30分~15時30分  
【場所】総合文化会館  
【内容】  
◆オープニング太鼓と書道のコラボレーション  
◆中学生人権作文の表彰・発表  
◆野球解説者の金村義明さんによる講演「わしに言わせい〜我が野球人生と今のスポーツ指導」  
【その他】要約筆記・補聴器支援機器あり  
【問い合わせ先】  
人権啓発推進課 ☎66・1022



◆人権標語 入賞作品が決定  
7月~9月に募集した人権標語に5,705点の応募があり、次のとおり特選、入選、佳作が決まりました(敬称略)。

【特選】  
◆おこもりゆづをいおう(けらな)で  
高橋龍星(朝来小1年)  
◆にぎった手(つらいときこそはなさない)  
真下 真(中筋小5年)  
◆その勇気(だれかの命救うかも)  
田中結(白糸中1年)  
◆やめようよ(わかっているのに) 知らぬ顔  
松平寛史(JMUデイフェンス)ス  
テムス(株)

【入選】  
川角星愛(中筋小2年、篠原悠真(大浦小3年)、水口かりな(池内小3年)、藤本咲哉(中筋小5年)、千坂真穂(由良川小6年)、真下亜希那(加佐中1年)、五嶋和彩(書業中3年)、高木真歩・谷田結花(以上、舞鶴医療センター附属看護学校)

【佳作】  
波多野健太郎(池内小1年)、坂田京吾(余内小2年)、真田結大(新舞鶴小3年)、中川めい(志楽小4年)、兼田泰地(福井小4年)、中村心音(余内小5年)、淡路絢景(岡田小5年)、福村光玲(白糸中3年)、江口響音(加佐中3年)、水田ひより(舞鶴医療センター附属看護学校)、松田友佳(関西電力(株))

【入賞作品の展示】12月4日(金)~14日(月)、バザールタウン舞鶴、市役所本館で入賞作品を展示(市役所は平日のみ)。  
【問い合わせ先】人権啓発推進課 ☎66・1022